

<研究主題> 自ら判断し よりよく行動しようとする子どもの育成
～ひと・もの・こととのつながりを大切にした金銭教育を通して～

<研究動機>

○本校の教育活動は、地域とのつながりを生かしたものが盛んである。

○人間形成の土台作りとなる金銭教育が本校の教育目標を達成するための手段として有効だと思われる。

<研究仮説>

各教科・領域を通して「人とのつながり」「ものやお金とのつながり」「働くこととのつながり」の大切さを学ばせることによって、子どもたちの感謝と自立の心（豊かな社会性）を育て、子どもたちが自分で判断し、よりよく行動しようとする態度を育てることができるだろう。

<研究手順>

- ① 金銭教育の理論研究
- ② 全体図・年間計画の作成
- ③ 児童アンケートによる実態把握
- ④ 授業実践
- ⑤ 授業後の児童アンケートによる実態把握

<研究成果の検証方法>

- ・授業実践時に児童の観察を行う。
- ・授業前と授業後のアンケートを比較分析する。

<研究の目的>

○ひと・もの・ことに視点をあてた金銭教育による教育活動の効果を検証したい。